

# 道後温泉本館保存修理工事の観光資源化 「道後温泉本館×火の鳥 道後REBORNプロジェクト」(愛媛県松山市)

## 取組概要

- ◆明治27年に改築され125年を超える**道後温泉本館**は、平成6年に日本で初めて重要文化財に指定された現役の公衆浴場。その本館を未来に受け継ぐため、**営業しながらの保存修理工事**を実施。
- ◆**工事中ならではの魅力を発信**するため、手塚治虫の「**火の鳥**」と**コラボレーション**。
- ◆象徴的な**ラッピングアート**は、建物の約3分の1を覆う素屋根と、延約100mの仮囲いを装飾。無機質な**工事用仮設物を新たな街のシンボル**に仕立てた。

## 取組の効果

- ◆令和元年の**松山市観光客は平成以降で最高の615万3,300人**と推定。
- ◆契約額は3年間で約1億9,000万円、地方創生推進交付金を活用し、財政負担を軽減。
- ◆**広告換算効果は、年間約15億円**。
- ◆周囲の商店街では、**30品目以上のコラボグッズ**を独自に商品化し土産物として販売。
- ◆**夜間のイベント**は、商店街の賑わいや**地域の宿泊需要**につながっている。

## 創意・工夫した点

- ①ピンチをチャンスに変える
- ②「工事仮設物」を新たなまちのシンボルに
- ③通年で每晚実施のナイトタイムエコノミー
- ④商品開発で地域活性化につなげる
- ⑤旅行会社とのタイアップで全国にPR
- ⑥アニメで世界に伝える

## 他団体へのアドバイス

- ・文化財の**保存修理工事**が、マイナス要素になり得る中、工事を「再生への過程」と捉え、新たな**観光資源としてプラスに転換**できる。
- ・**地元懇談会でのデザイン協議**により、**主体性と責任を付与**し、**地域連携**を深めることができる。

人口 508,912人 (R2.1.1現在)

担当 産業経済部  
道後温泉事務所



道後温泉本館ラッピングアート



観光客、地域が一体となり  
保存修理工事の魅力を伝える